

「電気代がひと月4千円も上がった」
 「先が全く見えない。廃業もちらつく」

物価等高騰対策 早く

原油高、電気代値上げ…食料品なども値上げラッシュです。市民生活も事業所経営も深刻さが広がっています。

物価等高騰対策迫る!! 日本共産党4議席

10月4日閉会する流山市議会。する中、日本共産党は、具体的議会一般質問では、物価高騰対策を取り上げた小田桐たかし議員の追求が議場に響きました。9月議会一般質問でも取り上げ、市民生活も事業所経営もひっ迫実施を迫りました。

困窮世帯5万円支給 補正予算化!!

日本共産党市議団は、4人の議員が多方面から寄せられた要望をまとめ市長へ提出（7月19日）。右表のように具体化された「交付金」はR3年度は6億8千万円、R4年度は現時点で5億円。さらに追加増額もされます。

一般質問（9月8日）で、「困窮生体への5万円支給は急げ」と提案した経緯も踏まえ、10月4日、市議会最終日、岸田内閣が9月9日に閣議決定した生活困窮世帯への5万円支給（対象…住民税非課税世帯・家計急変世帯の計1万6千世帯）8億3826万9千円の補正予算が議会に提案、即日、可決されました。引き続き、願い実現に頑張ります。

【日本共産党が提案し、具体化された物価等高騰対策】

議会への提出時期	物価等高騰対策	予算
6月10日	学校給食への公費助成	6292万1千円
9月1日	私立保育園等給食費への公費助成	7627万6千円
	介護施設運営費への公費助成	7056万円
	障害者施設運営費への公費助成	5220万円



流山市議会議員

小田桐 たかし

より良い
教育環境へ

教員不足 年度初めで20名超 不登校300人超 過去最多更新

年度初めから、担任がいない…緊急事態!!

千葉県教育委員会の調査では、教職員（管理職を除く）の時間外労働は、月45時間以上が、45.7%、月80時間以上（過労死ライン）は、10.7%に及んでいます。また、病気休職者の70.2%が精神疾患を患っています。

また市内では、年度当初から配置されるべき教員が21人もいない事態は過去に例がなく、緊急事態です。

流山市内小中学校の
教員欠員の推移 (人)

年度	年度初め (4月)	年度末 (3月)
2018	2	2
2019	2	3
2020	0	2
2021	7	21
2022	21	?

教育相談 年2千件超

深刻なのは、教職員だけではありません。不登校やいじめなどの教育相談は、年間2034件。30日間学校を休んでいる「不登校」児童生徒は、309人で過去最多を更新しました。

相談に依っている教育研究企画室では、増員提案が反映され、心理士を含めたスクールカウンセラーは9名に増員されてきましたが、全員が非正規。正規職員はたった2名です。

小田桐議員の質疑に、「一人ひとりに寄り添えるよう、拡充したい」と担当室長も回答しており、体制強化は待ったなしです。

教職員の増員が解決のカギ

日本共産党市議団は、千葉県議団、国会議員団とも共同し、教職員の増員を求め、運動を広げていきます。

9月市議会では、①ご本人の意向で、育児休暇を取得せず、早期現場復帰される教職員へ市独自支援。②市教育委員会に配置されている教員免許と現場経験を有する教員は、学校現場に戻し、一般事務職員、心理士や精神保健福祉士など正規職員の増員配置。③市教育委員会の主催する催し等の再編・簡略化。④県教育委員会が採用す



る教員募集数を増員し、年度初めの定員欠員の解消。⑤県独自に正規教員を増やし、産休・育休・療養休暇への早期対応。⑥春休みやGW期間中の体調チェックの実施：党市議団として提案し、積極的対応を求めました。

引き続き、教職員の未配置解消へ、一緒に世論と運動を広げましょう。日本共産党も全力を尽くす決意です。